

## まえがき

我が国には大小さまざまな河川があり、災害復旧をふくむ川づくりにおいては、さまざまな護岸工法が用いられてきました。近年では安全性はもとより周辺との調和が求められております。

北陸地方では平成18年12月に「環境配慮型ブロック設計資料」が「土木用コンクリート製品設計便覧」に掲載される護岸ブロック類の設計資料として発刊され北陸地方整備局管内の公共工事に広く採用されてきました。その後、平成23年10月に「多自然川づくりポイントブックⅢ」の発刊、平成30年6月には「美しい山河を守る災害復旧基本方針」が改定されました。このような状況でコンクリート製品会社は機械施工が可能な省人型製品という目的を目指しつつ、これらに対応した多くの製品や工法を開発・導入してきました。

平成30年3月に改訂された「土木用コンクリート製品設計便覧」では、環境配慮型の製品が多数掲載されており、その内容は北陸地方のコンクリート製品会社の創意によって開発された多様な製品を、「みなしの考え方」を取り入れた包括的掲載となっております。

本設計資料は、「土木用コンクリート製品設計便覧」に掲載された環境配慮型ブロックについて、その分類規格毎に、北陸で生産・供給が可能な製品の形状・規格・特徴、施工後の経過や景観状況を紹介するものであります。

この設計資料が、具体の工事施行に際し、製品規格の適正な選定並びに設計施工に役立てば幸いと考えています。

令和 元年 7月

環境ブロック研究会